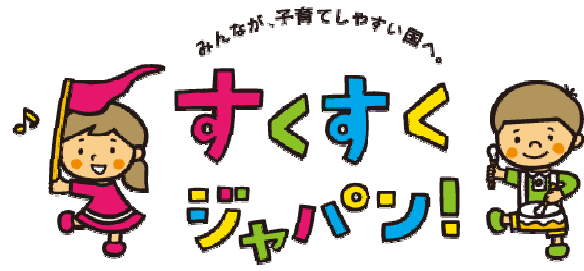


# 地域子ども・子育て支援事業の 「量の見込み」について

平成26年6月19日

津市健康福祉部 子育て推進課



## 1 区域

事業	設定区域
①利用者支援に関する事業	全市域
②時間外保育事業	10地域
③放課後児童健全育成事業	小学校区（原則）
④子育て短期支援事業	全市域
⑤乳児家庭全戸訪問事業	全市域
⑥養育支援訪問事業、及び要保護児童対策地域協議会その他の者による 要支援児童等に対する支援に資する事業	全市域
⑦地域子育て支援拠点事業	10地域
⑧一時預かり事業	10地域
⑨病児保育事業	全市域
⑩子育て援助活動支援事業	全市域
⑪妊婦健診事業	全市域

## 子ども・子育て支援事業計画における記載イメージ

### 教育・保育

〇〇区域		1年目			2年目			3年目		
		3-5歳 教育標準 時間認定 (1号)	3-5歳 保育認定 (2号)	0-2歳 保育認定 (3号)	3-5歳 教育標準 時間認定 (1号)	3-5歳 保育認定 (2号)	0-2歳 保育認定 (3号)	3-5歳 教育標準 時間認定 (1号)	3-5歳 保育認定 (2号)	0-2歳 保育認定 (3号)
①量の見込み(必要利用定員総数)		300人	200人	200人	300人	200人	200人	300人	200人	200人
②確保の内容	認定こども園・幼稚園・保育所 (教育・保育施設)	300人	200人	80人	300人	200人	120人	300人	200人	150人
	地域型保育事業			20人			30人			50人
②-①		0人	0人	▲100人	0人	0人	▲50人	0人	0人	0人

以降5年目まで記載

### 地域子ども・子育て支援事業

〇〇区域

地域子育て支援拠点事業	1年目	2年目	3年目
①量の見込み	3,000人 (10ヶ所)	3,000人 (10ヶ所)	3,000人 (10ヶ所)
②確保の内容	3,000人 (10ヶ所)	3,000人 (10ヶ所)	3,000人 (10ヶ所)
②-①	0人	0人	0人

放課後児童健全育成事業	1年目	2年目	3年目
①量の見込み	800人 (20ヶ所)	800人 (20ヶ所)	800人 (20ヶ所)
②確保の内容	600人 (16ヶ所)	700人 (18ヶ所)	800人 (20ヶ所)
②-①	▲200人 (4ヶ所)	▲100人 (2ヶ所)	0人

## 2 量の見込み

地域子ども・子育て支援事業		① 利用者支援事業
	津市事業	利用者支援事業
区域	設定	全市域
	設定根拠	区域設定の考え方については、子育て支援センターや子育てひろばなど、就学前の保護者が利用する場所等で利用者支援を行うことが効果的であると考え。このため、子育て支援センターに配置し、全市域を対象として、他の子育て支援センターや子育て広場など保護者が集う場所に巡回して利用者支援活動を展開していく。

### ■「量の見込み」算出の考え方

算出根拠	対象年齢	0～2歳
	方法	国が作成した『市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き』による
	概要	<p>■国の算出の考え方及び算出方法 0～2歳の子どもがいる全世帯を対象として算出 子育て中の親子の身近な場所に設置することが必要であることから、例えば、複数の中学校区（2中学校区など）に1箇所などを目安として、箇所数で設定する。</p> <p>■本市における算出の考え方 平成26年度から、子育て支援センター3箇所に「子育て支援コーディネーター」を各1名配置し、利用者支援事業を実施する。 本年度は、子ども・子育て支援に関連する各種事業や制度に関する研修及び子育て支援センターでの実習等を行っており、研修終了後、事業を開始する。今後は、子育て支援センターや子育てひろばを巡回するなど、連携して事業を実施することとし、平成28年度からは5か所に配置を予定する。</p>
	指標(単位)	設置数(か所)

### ■「量の見込み」

	実績 (平成25年度)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	備考
津市	***	3	5	5	5	5	
暫定値	第3回会議で報告した数値等	3	5	5	5	5	
	「国の手引き」により算出した数値等	—	—	—	—	—	

地域子ども・子育て支援事業		② 時間外保育事業
	津市事業	延長保育事業
区域	設定	10地域
	設定根拠	教育・保育施設との密接な関連性

■「量の見込み」算出の考え方

算出根拠	対象年齢	0～5歳
	方法	国が作成した『市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き』による
	概要	<p>■国の算出の考え方及び算出方法</p> <p>対象となる家族類型 共働き家庭等（A・B・C・E）0～5歳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用意向率</li> <li>平日定期的に利用したい教育・保育の事業が保育園等（事業所内保育所、認可外保育所等を含む）を利用している人で 利用（希望）時間が18時以降としている人の割合</li> <li>・家族類型別児童数</li> </ul> <p>推計児童数(人) × 対象家族類型(割合) = 家族類型別児童数(人)</p> <p>☆ 家族類型別児童数 × 利用意向率 = 量の見込み</p> <p>■本市における算出の考え方</p> <p>国の手引きを基に算出した見込み数を暫定値としたが、利用実績と大きく乖離するため、考え方を整理して、見込み量を算出する。</p>
	指標(単位)	利用希望人数(人)

■「量の見込み」

	実績 (平成25年度)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	備考
津市	1,352	1,469	1,456	1,426	1,410	1,390	
暫定値	第3回会議で報告した数値等	3,322	3,292	3,225	3,188	3,143	
	「国の手引き」により算出した数値等	3,322	3,292	3,225	3,188	3,143	

延長保育利用者数について、H24年度からH25年度への実績推移を、H25年度以降にも適用すると

		実績	実績	推計	推計
		24	25	26	27
公立 (8園)	利用人数	166	183	202	222
	利用回数	1,058	1,310	1,622	2,008
	1人平均	6.37	7.16	8.04	9.03
私立 (24園)	利用人数	1,131	1,169	1,208	1,249
	利用回数	36,632	38,129	39,687	41,309
	1人平均	32.39	32.62	32.85	33.08
合計 (32園)	利用人数	1,297	1,352	1,409	1,469
	利用回数	37,690	39,439	41,269	43,184
	1人平均	29.06	29.17	29.28	29.40

延長保育 量の見込み

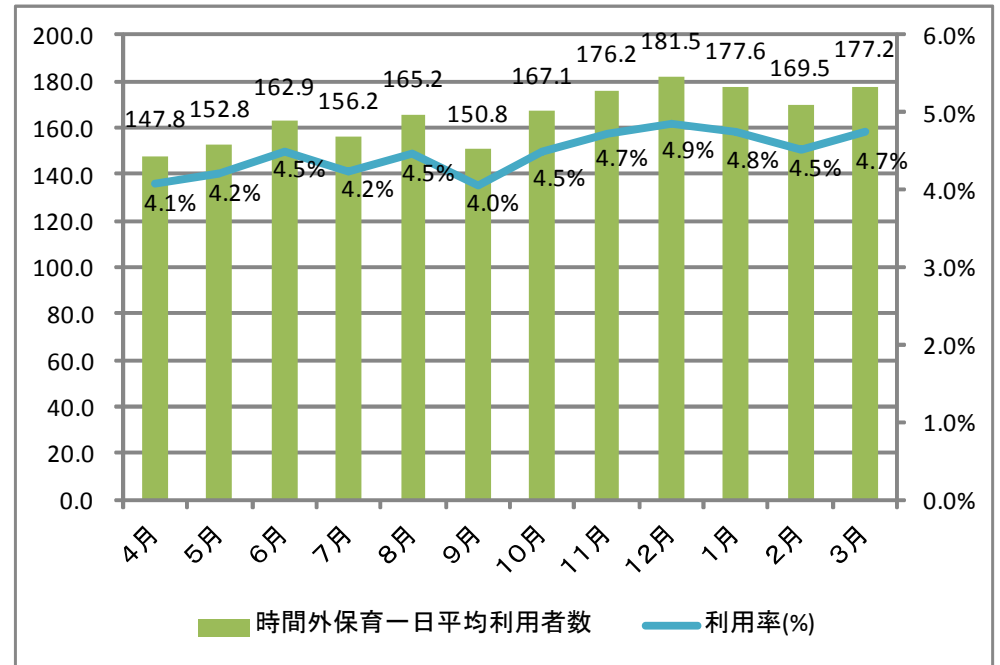
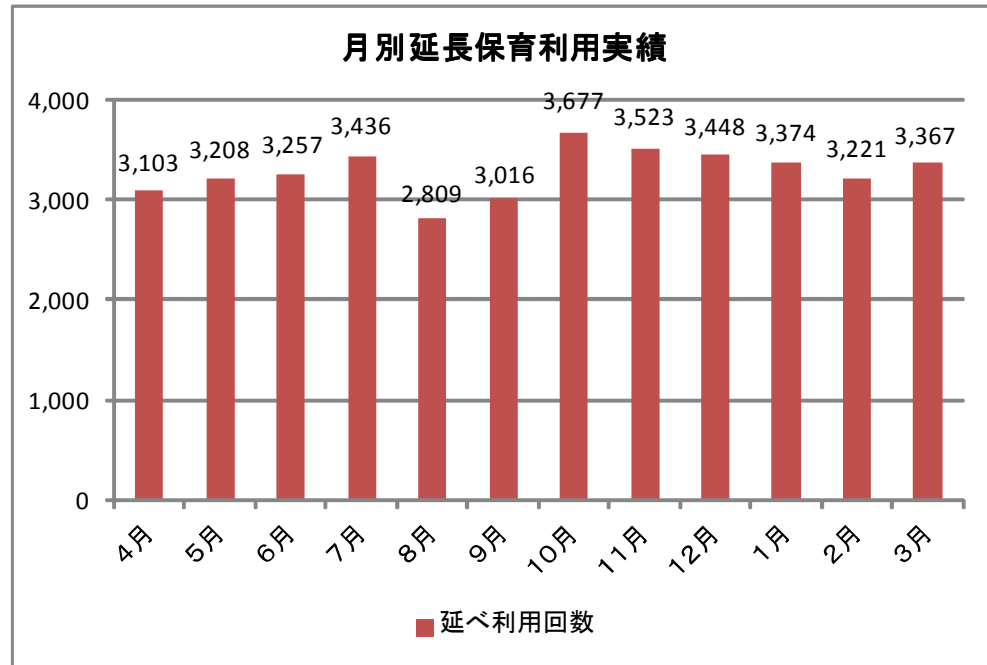
年度		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	参考: 24年度実績
（量の 暫定見 込み）	津市	<b>1,469</b>	<b>1,456</b>	<b>1,426</b>	<b>1,410</b>	<b>1,390</b>	1,296
	(参考:国手引 きによる算定 値)	3,322	3,292	3,225	3,188	3,143	
	津	839	839	823	819	798	
	久居	274	271	264	260	264	
	河芸	105	104	107	105	104	
	芸濃	48	47	43	43	44	
	美里	13	11	11	9	9	
	安濃	45	46	44	43	41	
	香良洲	18	17	16	16	16	
	一志	79	80	78	78	76	
	白山	42	37	36	33	32	
	美杉	5	4	4	4	4	

平成25年 延長保育利用数実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用回数	3,103	3,208	3,257	3,436	2,809	3,016	3,677	3,523	3,448	3,374	3,221	3,367	39,439
保育日数	21	21	20	22	17	20	22	20	19	19	19	19	239
時間外保育一日平均利用者数	147.8	152.8	162.9	156.2	165.2	150.8	167.1	176.2	181.5	177.6	169.5	177.2	165.0
在園児数 (延長保育実施園)	3,622	3,631	3,630	3,693	3,704	3,724	3,721	3,735	3,740	3,737	3,747	3,737	
利用率(%)	4.1%	4.2%	4.5%	4.2%	4.5%	4.0%	4.5%	4.7%	4.9%	4.8%	4.5%	4.7%	

※保育日数は土・日を除く

※8月はお盆期間あるため、園によって対応に差があり



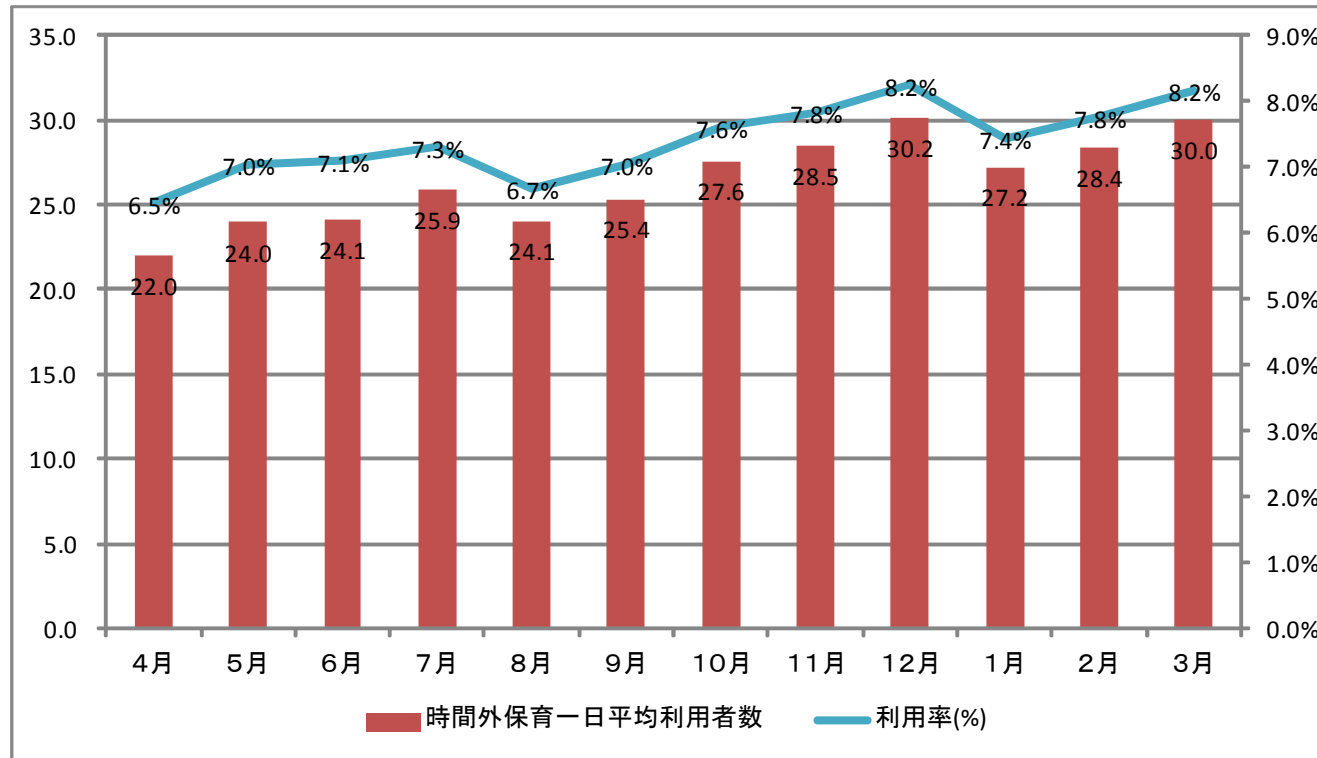


平成25年 延長保育利用数実績(20時まで延長実施園のみ、3園)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月延べ利用数	461	503	482	569	409	507	607	570	573	517	539	570	6,307
保育日数	21	21	20	22	17	20	22	20	19	19	19	19	239
時間外保育一日平均利用者数	22.0	24.0	24.1	25.9	24.1	25.4	27.6	28.5	30.2	27.2	28.4	30.0	26.4
在園児数 (延長保育実施園)	340	340	340	354	360	360	363	364	366	366	366	367	
利用率(%)	6.5%	7.0%	7.1%	7.3%	6.7%	7.0%	7.6%	7.8%	8.2%	7.4%	7.8%	8.2%	

※保育日数は土・日を除く

※8月はお盆期間あるため、園によって対応に差があり



私立延長(曜日別)

	月	火	水	木	金	土	日	計	
18:00 ~ 18:30	6,542	7,809	7,999	7,771	7,708	299	1	38,129	18,172
18:30 ~ 19:00	3,404	4,074	4,186	4,027	4,012	253	1	19,957	18,373
19:00 ~ 19:30	263	309	326	317	369	0	0	1,584	1,390
19:30 ~ 20:00	32	23	42	41	56	0	0	194	188
20:00 ~	1	1	2	1	1	0	0	6	
平均(/52) (人)	125.8	150.2	153.8	149.4	148.2	5.8	0.0		
平均(祝日除く)	155.8	156.2	156.8	149.4	154.2	6.0	0.0		
(祝日除く)	42	50	51	52	50	50			

月は祝日が多い

私立保育園の時間外保育

総利用数38,129回のうち18,172回(約47.7%)が18:30までに迎え  
 総利用数38,129回のうち36,545回(約95.8%)が19:00までに迎え

私立延長(20時まで延長実施園のみ、曜日別)

	月	火	水	木	金	土	日	計	
18:00 ~ 18:30	1110	1268	1394	1259	1256	20	0	6307	
18:30 ~ 19:00	705	810	846	774	779	5	0	3919	
19:00 ~ 19:30	104	100	129	124	147	0	0	604	
19:30 ~ 20:00	31	21	41	39	53	0	0	185	
20:00 ~	2	1	2	1	1	0	0	7	
平均(/52) (人)	21.3	24.4	26.8	24.2	24.2	0.4	0		
平均(祝日除く)	26.4	25.4	27.3	24.2	25.1	0.4	0		
(祝日除く)	42	50	51	52	50	50			

月は祝日が多い

私立保育園の時間外保育  
 (20時まで延長実施園のみ)

総利用数6,307回のうち2,388回(約37.9%)が18:30までに迎え  
 総利用数6,307回のうち5,703回(約90.4%)が19:00までに迎え  
 総利用数6,307回のうち6,122回(約97.1%)が19:30までに迎え  
 総利用数6,307回のうち6,300回(約99.9%)が20:00までに迎え

地域子ども・子育て支援事業		③ 放課後児童健全育成事業
	津市事業	放課後児童クラブ事業
区域	設定	(原則) 小学校区
	設定根拠	利用児童が安全に放課後児童クラブに通うためには、クラブ施設が小学校の敷地内あるいは小学校に近接していることが必要である。このため、小学校区を区域の単位とするが、児童を安全にクラブ施設まで送る手立てがある場合には、小学校をまたぐ区域を設定することも可とする。

■「量の見込み」算出の考え方

算出根拠	対象年齢	小学生（7歳～12歳）
	方法	国が作成した『市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き』による
	概要	<p>■国の算出の考え方及び算出方法</p> <p>5歳児の子どもがいる全世帯を対象として算出 放課後の時間を過ごさせたい場所で「放課後児童クラブ」を選択した割合を低学年（1～3年生）・高学年（4～6年生）の別に算出する。</p> <p>■本市における算出の考え方</p> <p>・小学生の保護者を対象にしたアンケート調査から利用（意向）率を算定する。 低学年（1～3年生）について、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごしている場所で「放課後児童クラブ」を選択した割合と週当たりの利用日数を算出し、その児童が高学年（4～6年生）になった場合の利用意向率と利用希望日数を算出する。</p>
	指標(単位)	利用希望人数（人／日）

■「量の見込み」

	実績 (平成25年度)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	備考
津市	低学年 1,347	1,168	1,151	1,139	1,108	1,104	低学年（1～3年生）
	高学年 591	959	936	936	932	919	高学年（4～6年生）
	計 1,938	2,127	2,087	2,075	2,040	2,023	計
暫定値	第3回会議で報告した数値等	※ 「国の手引き」により算出した下段の数値のとおり					
	「国の手引き」により算出した数値等	1,168	1,151	1,139	1,108	1,104	低学年（1～3年生）
		959	936	936	932	919	高学年（4～6年生）
		2,127	2,087	2,075	2,040	2,023	計

各学校区別の量の見込み

		低学年(1~3年生)						高学年(4~6年生)						26年実数
		26年実数	27年	28年	29年	30年	31年	26年実数	27年	28年	29年	30年	31年	
養正		25	20	20	20	19	19	15	17	17	17	17	16	40
修成		39	30	30	29	29	29	23	24	23	23	23	23	62
南立	誠	55	40	40	39	38	38	25	28	27	27	27	27	80
北立	誠	47	40	39	39	38	38	12	23	23	23	22	22	59
敬和		24	22	22	22	21	21	14	14	13	13	13	13	38
育生		52	33	32	32	31	31	38	28	27	27	27	27	89
新町		44	35	34	34	33	33	21	28	27	27	27	27	65
藤水		66	27	27	27	26	26	40	19	18	18	18	18	105
高茶	屋	27	43	42	42	41	41	8	37	36	36	36	35	34
神戸		11	18	18	17	17	17	16	19	18	18	18	18	27
安東	—		7	7	7	7	6	—	7	7	7	7	7	—
櫛形		5	7	7	7	7	7	2	7	7	7	7	6	7
雲出		22	19	19	19	18	18	23	15	15	15	15	14	44
一身	田	64	56	55	54	53	53	36	50	49	49	49	48	100
白塚		33	29	29	28	28	27	16	25	24	24	24	24	49
栗真	—		5	5	5	5	5	—	6	6	6	6	6	—
片田		26	11	11	11	11	11	14	13	12	12	12	12	40
大里	—		17	17	17	17	17	—	13	12	12	12	12	—
高野	—		6	6	6	5	5	—	4	4	4	4	4	—
西が	丘	52	70	69	68	66	66	31	59	57	57	57	56	83
豊が	丘	29	32	32	31	30	30	8	27	26	26	26	26	37
南が	丘	110	64	63	62	60	60	62	58	57	57	57	56	171
上野		19	20	19	19	19	19	9	15	14	14	14	14	31
豊津		52	19	19	19	18	18	0	14	14	14	14	13	54
黒田	—		10	10	10	9	9	—	10	10	10	10	10	—
千里ヶ	丘	39	45	44	44	42	42	8	39	38	38	38	38	48

	低学年(1~3年生)						高学年(4~6年生)						26年実数
	26年実数	27年	28年	29年	30年	31年	26年実数	27年	28年	29年	30年	31年	
明	—	5	5	5	5	5	—	8	7	7	7	7	—
芸辰	38	28	28	28	27	27	22	16	16	16	16	16	59
濃水	—	6	6	6	6	6	—	5	5	5	5	5	—
高宮	14	7	7	7	6	6	1	5	5	5	5	5	15
長野	—	4	4	4	4	4	—	2	2	2	2	1	—
明合	20	8	8	8	7	7	15	9	9	9	9	9	35
安村	21	14	14	14	13	13	19	13	13	13	13	12	40
草主	19	11	10	10	10	10	0	10	10	10	10	10	19
草誠	—	7	7	7	7	6	—	6	6	6	6	6	—
成立	39	28	27	27	26	26	25	27	27	27	26	26	64
成美	28	34	34	33	32	32	9	28	28	28	27	27	37
立成	54	57	57	56	54	54	31	39	38	38	38	37	88
桃園	20	27	27	26	26	26	10	24	23	23	23	23	30
戸木	57	27	27	26	26	26	0	16	15	15	15	15	57
栗葉	37	45	44	43	42	42	13	40	39	39	39	39	50
榊原	—	5	5	5	5	5	—	5	4	4	4	4	—
香良	27	20	20	20	19	19	13	16	16	16	16	16	40
一志	40	34	33	33	32	32	8	26	25	25	25	25	53
一家	34	31	31	30	29	29	0	29	28	28	28	28	34
川城	6	5	5	5	5	5	6	5	5	5	5	5	11
八口	—	9	9	9	9	9	—	5	5	5	5	5	—
大ツ	—	4	4	4	4	4	—	5	4	4	4	4	—
大三	11	14	14	14	13	13	3	10	10	10	10	10	12
倭杉	10	7	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	15
美	—	6	6	6	5	5	—	7	6	6	6	6	—
総合計	1316	1168	1151	1139	1108	1104	601	959	936	936	932	919	2127

<b>地域子ども・子育て支援事業</b>		④ 子育て短期支援事業
	津市事業	津市子育て支援ショートステイ事業
区域	設定	全市域
	設定根拠	児童養護施設等の分布状況により、全市域を区域とする。

■「量の見込み」算出の考え方

算出根拠	対象年齢	0～18歳
	方法	国が作成した『市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き』による
	概要	<p>■国の算出の考え方及び算出方法</p> <p>対象となる家族類型 全ての家庭 0～5歳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用意向率</li> <li>保護者の用事によって子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった時に「ショートステイを利用した」、「仕方なく子どもだけで留守番させた」人の割合</li> <li>・家族類型別児童数</li> </ul> <p>推計児童数(人) × 潜在家族類型(割合) = 家族類型別児童数(人)</p> <p>☆ 家族類型別児童数 × 利用意向率 = 量の見込み</p> <p>■本市における算出の考え方</p> <p>主たる事業対象者は、要支援家庭における児童等であるため、市独自の方法により算出する。</p>
	指標(単位)	利用希望人数(人日)

■「量の見込み」

	実績 (平成25年度)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	備考
津市	(欄外)	210	210	210	210	210	
暫定値	第3回会議で報告した数値等	210	210	210	210	210	
	「国の手引き」により算出した数値等	0	0	0	0	0	

利用実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
延べ日数	159	276	148	116	350

地域子ども・子育て支援事業		⑤ 乳児家庭全戸訪問事業
	津市事業	乳児家庭全戸訪問事業
区域	設定	全市域
	設定根拠	本市で暮らす親子すべてにサービスを受ける機会を提供する。なお、里帰り分娩等で長期に市外に滞在する場合、住民からの希望があれば滞在先に訪問依頼を行う。

■「量の見込み」算出の考え方

算出根拠	対象年齢	おおむね4ヶ月まで
	方法	本市独自の方法による
	概要	<p>■国の算出の考え方及び算出方法 出生数等を勘案して、計画期間内における適切と考えられる目標事業量を設定する。</p> <p>■本市における算出の考え方 乳児を持つ家庭では新たな家族を迎えた喜びとともに、さまざまな理由で育児に対して不安や困難を感じることも少なくない。乳児を持つ家庭を訪問し、必要な保健指導や情報提供を行うことによって育児不安が軽減し、地域で見守られて育児をしている安心につながることから訪問率100%をめざし、全戸訪問事業に取り組む必要がある。 対象人数は計画期間における0歳児の人口推計をもとに、前述の目的から訪問率100%を目指し算出する。</p> <p>※訪問家庭数…訪問の対象となる家庭の実数を記載</p>
	指標(単位)	実利用者数(人/年)

■「量の見込み」

	実績 (平成25年度)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	備考
津市	2,066	2,181	2,145	2,125	2,093	2,055	
暫定値	第3回会議で報告した数値等	2,181	2,145	2,125	2,093	2,055	
	「国の手引き」により算出した数値等	***	***	***	***	***	※国の手引きによる算出値なし

地域子ども・子育て支援事業	津市事業	⑥ 養育支援訪問事業、及び要保護児童対策地域協議会その他の者による要支援児童等に対するの支援に資する事業
	設定	養育支援訪問事業
区域	設定	全市域
	設定根拠	特定の対象を継続的に支援するものであり、事業の性質上、全市域を区域とする。

■「量の見込み」算出の考え方

算出根拠	対象年齢	食事、衣服、生活環境等について、不適切な養育状態にある家庭など、虐待のおそれやそのリスクを抱え、特に支援が必要と認められる家庭
	方法	本市独自の方法による
	概要	<p>■国の算出の考え方及び算出方法 児童福祉法に規定される要支援児童及び特定妊婦並びに酔う保護児童の数等を勘案して、計画期間内における適切と考えられる目標事業量を設定する。</p> <p>■本市における算出の考え方 主たる事業対象者は、要支援家庭であるため、過去の利用実績に基づき推移を設定する。</p>
	指標(単位)	利用者数(件・回/年)

■「量の見込み」

	実績 (平成25年度)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	備考
津市	(欄外)	18	18	18	18	18	
暫定値	第3回会議で報告した数値等	18	18	18	18	18	
	「国の手引き」により算出した数値等	***	***	***	***	***	※国の手引きによる算出値なし

利用実績	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
対象家庭数	3	3	3	2
延べ訪問件数	9	38	16	11



地域子ども・子育て支援事業		⑦ 地域子育て支援拠点事業
	津市事業	地域子育て支援拠点事業
区域	設定	10地域
	設定根拠	教育・保育施設へのつながりを考慮し、教育・保育施設と同様の区域設定とする。

■「量の見込み」算出の考え方

算出根拠	対象年齢	0～2歳
	方法	国が作成した『市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き』による
	概要	<p>■国の算出の考え方及び算出方法</p> <p>対象となる家族類型 全家庭 0～2歳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用意向率           <ul style="list-style-type: none"> <li>①子育て支援センターを「利用している」と回答した人</li> <li>②子育て支援センターを「利用していない」が「今後利用したい」と回答した人</li> </ul>           → ①、②の合計を、設問の回答者総数で除して算出する。         </li> <li>・利用意向回数           <ul style="list-style-type: none"> <li>上記①、②の人の、月あたり平均利用（希望）回数</li> </ul> </li> </ul> <p>☆ 家族類型別児童数 × 利用意向率 × 利用意向回数 = 量の見込み</p> <p>■本市における算出の考え方</p> <p>国の手引きを基に算出した見込み数を暫定値としたが、利用実績と大きく乖離するため、考え方を整理して、見込み量を算出する。</p>
	指標(単位)	利用希望人数(人・日/月)

■「量の見込み」

	実績 (平成25年度)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	備考
津市	2,125(5,639)	9,672	9,532	9,407	9,279	9,147	
暫定値	第3回会議で報告した数値等	13,681	13,483	13,306	13,124	12,938	
	「国の手引き」により算出した数値等	16,109	15,876	15,667	15,453	15,234	

量の見込み(案)

(人・日/月)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
国手引きによる算定値	16,109	15,876	15,667	15,453	15,234
第3回会議時点の補正值	13,681	13,483	13,306	13,124	12,938
今回の補正值(案)	9,672	9,532	9,407	9,279	9,147

- ・国手引きによる算定値 0～2歳の保護者全員のニーズを反映
- ・第3回会議時点の補正值 上記数値より、保育所在園児保護者のニーズを除外
- ・今回の補正值(案) 第3回補正值に実績等により70.7%を乗じて補正(詳細は以下に記載)

実績からの数値	0-2歳保育所在園児除く	
	25年度(年間)	月平均
子育て支援センター	25,501	2,125
子育てひろば	36,015	3,001
未就園児の会(市立幼稚園)	6,155	513
計(A)	67,671	5,639
児童数(H25.4 0-2歳)(B)	4,844	4,844
一人当たり利用回数(A/B)	13.97	1.16

0～2歳で未就園の子どものいる保護者は、平均して1年あたり約14回、ひと月あたり約1.2回ほど子育て未就園児の会などを利用している。

子育て支援センター等の年間受入れ可能数

子育て支援センターに定員設定は無いため、施設ごとに受入れ可能人数を聞き取り

	子育て支援センターキャパ	子育て支援センター以外実績	計	1ヶ月あたり
合計	59,500	42,170	101,670	8,473

子育て支援センターの年間受入れ可能数(概算)と、子育て支援センター以外の利用実績を合計すると、上の表のように現状で月に延べ8,473名の受入れが可能と考えられる。

未就園児の利用希望日数分布(ニーズ調査より)

回数/月	計(人)	累計(人)	対象人数	月回数	累計(回)	充足回数
1	164	164	21.0%	164	164	5.0%
2	163	327	41.8%	326	490	15.0%
3	59	386	49.4%	177	667	20.5%
4	233	619	79.2%	932	1,599	49.0%
5	15	634	81.1%	75	1,674	51.3%
6	4	638	81.6%	24	1,698	52.1%
7	0	638	81.6%	0	1,698	52.1%
8	76	714	91.3%	608	2,306	70.7%
9	0	714	91.3%	0	2,306	70.7%
10	9	723	92.5%	90	2,396	73.5%
12	34	757	96.8%	408	2,804	86.0%
15	2	759	97.1%	30	2,834	86.9%
16	8	767	98.1%	128	2,962	90.9%
18	1	768	98.2%	18	2,980	91.4%
20	14	782	100.0%	280	3,260	100.0%
計	782			3,260		

4日(週1日)までを希望が、全体の約8割

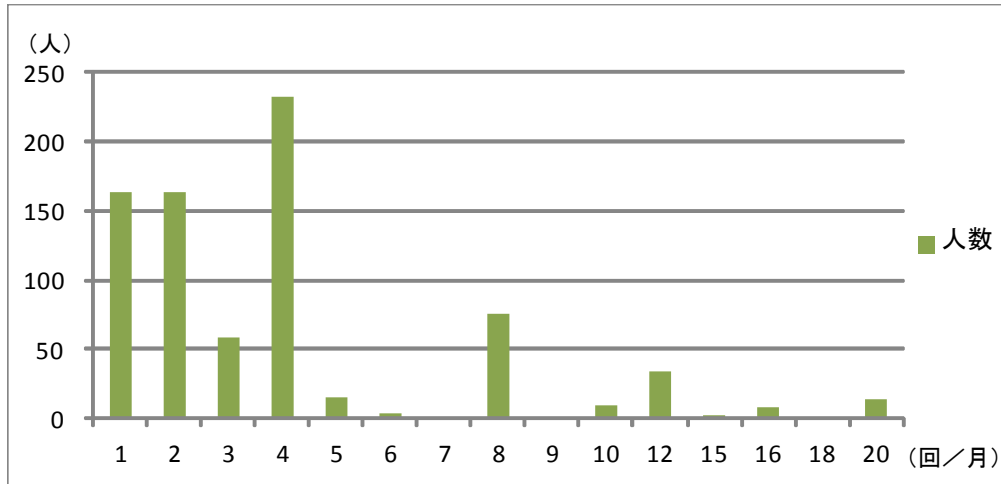
8日(週2日)までを希望が、全体の9割以上

10~20日を希望する人が8.7%いる。

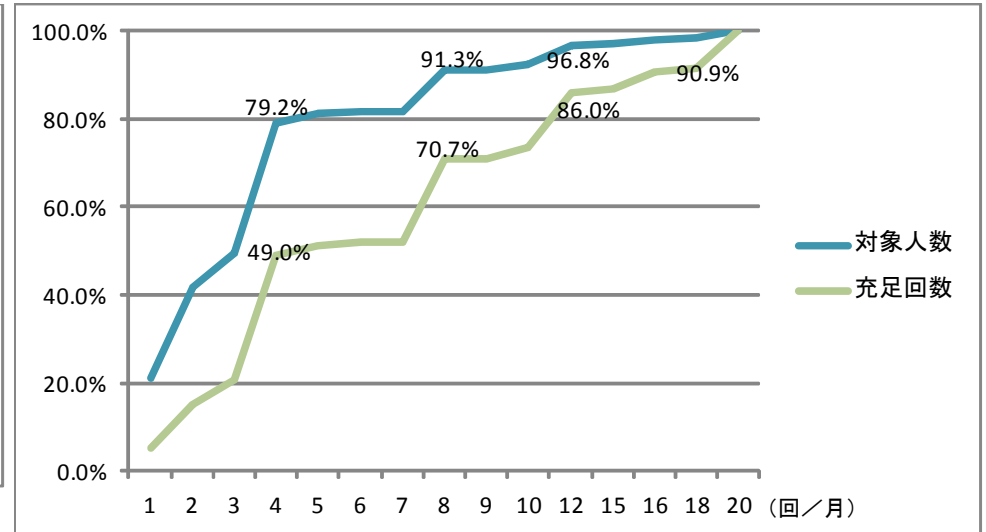
全体の8.7%の人が、ニーズ量の約30%を占めている

→ 算出されたニーズ量の70.7%で、全体の91.3%の人のニーズは満たされる

月あたり希望利用回数ごとの、回答人数



利用希望日数による、人数とニーズ量の累計



- ・ 利用希望者を月あたりの希望利用回数別に集計すると左上のグラフのようになる。
- ・ 利用希望の人数を回数順に累積していくと、月8回(約2週に1回)を希望する人までで、全体の91.3%となる。
- ・ また、その91.3%の人が希望するニーズ量は全体の70.7%となる。
- ・ つまり、月9回以上の利用を希望する8.7%の人がニーズ量としては29.3%を希望している。
- ・ 右上のグラフからもわかるように、ニーズ量の70.7%の量で91.3%の家庭のニーズは満たすことができると言える。

量の見込み(区域別)

指標(単位)	補正見込み人数:実利用者数(年間)(人日/月)				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
全市	9,672	9,532	9,407	9,279	9,147
津	5,666	5,584	5,511	5,435	5,358
久居	1,767	1,741	1,719	1,695	1,671
河芸	692	682	673	664	655
芸濃	321	316	312	308	304
美里	78	77	76	75	74
安濃	290	286	282	278	274
香良洲	117	115	114	112	111
一志	477	470	464	457	451
白山	235	232	229	226	223
美杉	29	28	28	27	27

	27年度(A)	現供給量(B)	(A) - (B)
全市	9,672	8,474	▲ 1,198
津	5,666	3,193	▲ 2,473
久居	1,767	561	▲ 1,206
河芸	692	447	▲ 245
芸濃	321	203	▲ 118
美里	78	59	▲ 19
安濃	290	2,427	2,137
香良洲	117	542	425
一志	477	625	148
白山	235	417	182
美杉	29	0	▲ 29

地域子ども・子育て支援事業		⑧ 一時預かり事業
	津市事業	一時預かり事業、ファミリー・サポート・センター事業、子育て支援短期利用事業
区域	設定	10地域
	設定根拠	教育・保育事業と同様に10地域とする。

■「量の見込み」算出の考え方

算出根拠	対象年齢	① 3～5歳（幼稚園在園児）、 ② 3～5歳（幼稚園在園児）、 ③ 0～5歳（幼稚園在園児以外）
	方法	国が作成した『市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き』による
	概要	<p><b>■国の算出の考え方及び算出方法</b></p> <p>① 1号認定による利用          対象となる家庭類型 専業主婦（夫）を含む就労時間短家庭（C'、D、E'、F）          ・利用意向（利用意向率×利用意向日数）  <math>1号認定相当の子どもの不定期事業の利用希望割合 \times</math>  <math>幼稚園利用者の一時預かり又は預かり保育の利用割合 \times</math> 不定期の預かり事業の利用希望日数の平均          ☆ 家族類型別児童数 × 利用意向 = 量の見込み</p> <p>② 2号認定による利用          対象となる家庭類型 共働き家庭等（A、B、C、E）          ・利用意向率 1.0          ・利用意向日数  <math>2号認定のうち幼稚園の利用希望が強い者 \times</math> 就労日数（週） × 52週          ☆ 家族類型別児童数 × 利用意向※ = 量の見込み ※ 利用意向率×利用意向日数</p> <p>③ 幼稚園在園児を対象とした預かり保育以外の一時預かり          対象となる家庭類型 全家庭          ・利用意向（利用意向率×利用意向日数）          ☆ 家族類型別児童数 × 不定期事業の利用希望割合 × 利用希望日数の平均日数  <math>- ①1号認定による利用日数 - ベビーシッターその他の利用日数 =</math> 量の見込み</p> <p><b>■本市における算出の考え方</b>          国の手引きを基に算出した見込み数を暫定値としたが、利用実績と大きく乖離するため、考え方を整理して、見込み量を算出する。</p>
	指標(単位)	実利用者数（人日/年）

■「量の見込み」

	実績 (平成25年度)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	備考	
津市	21,057	4,873	4,854	4,723	4,678	4,611	①幼稚園1号	
	51,728	106,817	106,398	103,511	102,539	101,059	②幼稚園2号	
	8,041	31,737	31,400	31,002	30,591	30,267	③上記以外	
暫定値	第3回会議で報告した数値等	※ 「国の手引き」により算出した下段の数値のとおり						
	「国の手引き」により算出した数値等	4,873	4,854	4,723	4,678	4,611	①幼稚園1号	
		144,738	144,171	140,259	138,942	136,936	②幼稚園2号	
	162,437	160,942	157,697	155,878	153,650	③上記以外		

■ 幼稚園在園児の一時預り(H24実績)

幼稚園預り保育	H24
	72,785

● 市立幼稚園

預り保育実績(H24)	12園	1園	3園	1園	4園	1園	1園	1園
	H24	(津地域)	(芸濃地域)	(美里地域)	(安濃地域)	(香良洲地域)	(一志地域)	(白山地域)
	17,789	5,555	2,253	793	4,406	2,330	359	2,093

● 私立幼稚園

預り保育実績(H24)	10園	9園	1園
	H24	(津地域)	(久居地域)
	54,996	49,258	5,738

保育に欠ける(2号該当)園児の数

合計	270	市立	85
		私立	185

2号該当子どもの延べ利用回数

合計	51,728	市立	11,021
		私立	40,707

1号該当の子どもの利用数(総数-2号)

合計	21,057	市立	6,768
		私立	14,289

■ 保育所による一時保育・一時預り

● 市立保育所

一時保育実績

	23年度	24年度	25年度
0-2歳	84	136	113
3-5歳	7	88	59
計	91	224	172

	(久居地域 5園)			(安濃地域 1園)			(白山地域 1園)			(美杉地域 1園)		
	23年度	24年度	25年度	23年度	24年度	25年度	23年度	24年度	25年度	23年度	24年度	25年度
0-2歳	27	16	16	0	39	31	55	71	57	2	10	9
3-5歳	3	19	27	0	32	4	4	37	28	0	0	0
計	30	35	43	0	71	35	59	108	85	2	10	9

● 私立保育所

一時預り実績

	23年度	24年度	25年度
0-2歳	3,046	2,913	2,132
3-5歳	215	365	198
計	3,261	3,278	2,329

	(津地域 3園)			(河芸地域 1園)		
	23年度	24年度	25年度	23年度	24年度	25年度
	1,948	1,983	1,226	1,098	930	906
	98	315	186	117	50	12
	2,046	2,298	1,411	1,215	980	918



図表 1

## ①②一時預かり事業(幼稚園型)について

	①幼稚園、認定こども園を希望する1号認定による利用						②幼稚園、認定こども園を希望する2号認定による利用					
	手引きにより算出した数値・・・(A)					実績	手引きにより算出した数値・・・(B)					実績
	H27	H28	H29	H30	H31	H24	H27	H28	H29	H30	H31	H24
全市	4,873	4,854	4,723	4,678	4,611	21,057	144,738	144,171	140,259	138,942	136,936	51,728
津	2,812	2,779	2,730	2,706	2,687	18,473	83,513	82,525	81,088	80,363	79,800	36,340
久居	874	906	881	868	851	1,071	25,945	26,916	26,156	25,767	25,265	4,667
河芸	347	343	329	339	332	0	10,294	10,197	9,779	10,065	9,870	0
芸濃	160	158	150	142	142	7	4,737	4,685	4,459	4,207	4,204	2,246
美里	43	46	40	42	36	66	1,279	1,353	1,180	1,248	1,081	727
安濃	149	145	142	142	138	274	4,417	4,321	4,219	4,207	4,084	4,132
香良洲	68	59	57	53	54	1,090	2,019	1,757	1,680	1,570	1,602	1,240
一志	262	262	259	255	253	13	7,776	7,774	7,679	7,569	7,507	346
白山	143	140	121	119	107	63	4,238	4,160	3,599	3,543	3,163	2,030
美杉	15	16	14	12	11	0	520	483	420	403	360	0

- ①は、家庭類型が、C、D、E、Fにあたる1号認定で、幼稚園、認定こども園での預かり保育(在園児対象)の利用  
 ②は、家庭類型が、A、B、C、Eにあたる2号認定で、幼稚園、認定こども園での日常的な預かり保育(在園児対象)の利用

図表1 は、①と②について手引きにより算出した数値(第3回津市子ども・子育て会議にて示したもの)とH24の実績の比較である。

①、②の見込み量はともにH24の実績と比べ、隔たりがある。

- ・①については、市全体としては、実績に比べ、かなり少ない見込み量となっており、充足しているが、区域別にみると、充足区域(津、久居、美里、安濃、香良洲)と不足区域(河芸、芸濃、一志、白山、美杉)とに分かれる。
- ・②については、市全体、区域別ともに、不足。

図表 2

	②幼稚園、認定こども園を希望する2号認定による利用										
	実績	手引きにより算出した数値・・・(B)					(B)×0.738・・・(C)				
	H24	H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31
全市	51,728	144,738	144,171	140,259	138,942	136,936	106,817	106,398	103,511	102,539	101,059
津	36,340	83,513	82,525	81,088	80,363	79,800	61,633	60,903	59,843	59,308	58,892
久居	4,667	25,945	26,916	26,156	25,767	25,265	19,147	19,864	19,303	19,016	18,646
河芸	0	10,294	10,197	9,779	10,065	9,870	7,597	7,525	7,217	7,428	7,284
芸濃	2,246	4,737	4,685	4,459	4,207	4,204	3,496	3,458	3,291	3,105	3,103
美里	727	1,279	1,353	1,180	1,248	1,081	944	999	871	921	798
安濃	4,132	4,417	4,321	4,219	4,207	4,084	3,260	3,189	3,114	3,105	3,014
香良洲	1,240	2,019	1,757	1,680	1,570	1,602	1,490	1,297	1,240	1,159	1,182
一志	346	7,776	7,774	7,679	7,569	7,507	5,739	5,737	5,667	5,596	5,540
白山	2,030	4,238	4,160	3,599	3,543	3,163	3,128	3,070	2,656	2,615	2,334
美杉	0	520	483	420	403	360	384	356	310	297	266

そのため、  
特に実績と見込みが大きく乖離している②について考えてみると、

H24実績は、幼稚園在園児3,665人のうち、2号認定にあたる270人が年間延べ51,728人日の利用によるもので  
 $51,728 \div 270 \div 192(\text{日}) \cdots 1$ 人あたりの平均利用日数

手引きによる見込み量の数値は、260日利用したと仮定しているが、実績は192日であることから  
 $192 \div 260 \div 0.738$  (260日利用を最大と考え、1とした場合の割合)

幼稚園、認定こども園を希望する2号認定の子どもが必要な預かり保育の量については、  
 (B)の数値の73.8%分にあたる(C)の数値が②の見込み量に近いと考えられる。

図表 3

	H24実績 ①+②	①+②の見込み量 (D)					充足量				
		H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31
全市	72,785	111,690	111,252	108,234	107,217	105,670	▲ 38,905	▲ 38,467	▲ 35,449	▲ 34,432	▲ 32,885
津	54,813	64,445	63,682	62,573	62,014	61,579	▲ 9,632	▲ 8,869	▲ 7,760	▲ 7,201	▲ 6,766
久居	5,738	20,021	20,770	20,184	19,884	19,497	▲ 14,283	▲ 15,032	▲ 14,446	▲ 14,146	▲ 13,759
河芸	0	7,944	7,868	7,546	7,767	7,616	▲ 7,944	▲ 7,868	▲ 7,546	▲ 7,767	▲ 7,616
芸濃	2,253	3,656	3,616	3,441	3,247	3,245	▲ 1,403	▲ 1,363	▲ 1,188	▲ 994	▲ 992
美里	793	987	1,045	911	963	834	▲ 194	▲ 252	▲ 118	▲ 170	▲ 41
安濃	4,406	3,409	3,334	3,256	3,247	3,152	997	1,072	1,150	1,159	1,254
香良洲	2,330	1,558	1,356	1,297	1,212	1,236	772	974	1,033	1,118	1,094
一志	359	6,001	5,999	5,926	5,851	5,793	▲ 5,642	▲ 5,640	▲ 5,567	▲ 5,492	▲ 5,434
白山	2,093	3,271	3,210	2,777	2,734	2,441	▲ 1,178	▲ 1,117	▲ 684	▲ 641	▲ 348
美杉	0	399	372	324	309	277	▲ 399	▲ 372	▲ 324	▲ 309	▲ 277

次に、①と②は、家庭類型は異なるが、

- ・どちらも幼稚園、認定こども園を希望していること
- ・実績の調査において、①と②の区別がつきにくく、混在しているケースもあること

などを踏まえ、

①と②、それぞれの必要量を一体で算出することが必要と考えられる。

そのため、①と②のそれぞれの必要量を合わせたものを(D)とおいた。

さらにそれをH24の実績と比較したものが図表3の右側部分の充足量である。

- ・津市全域 不足
- ・不足している区域(津、久居、河芸、芸濃、美里、一志、白山、美杉)
- ・おおむね足りている区域(安濃、香良洲) とに分かれる。

図表 4

	実施園数	不足分(人日)					1園1日あたりの増数(人)				
		H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31
全市	21	36,905	38,467	35,449	34,432	32,885	10	10	9	9	8
津	10	9,632	8,869	7,760	7,201	6,766	5	5	4	4	4
久居	1	14,283	15,032	14,446	14,146	13,759	74	78	75	74	72
河芸	0	7,944	7,868	7,546	7,767	7,616					
芸濃	3	1,403	1,363	1,188	994	992	2	2	2	2	2
美里	1	194	252	118	170	41	1	1	1	1	1
安濃	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
香良洲	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一志	0	5,642	5,640	5,567	5,492	5,434					
白山	1	1,178	1,117	684	641	348	6	6	4	3	2
美杉	0	399	399	324	309	277					

図表4(左側)に、実績と比較した見込み量の不足分を表した。

平成27年度不足分 36905人日を実施園21園で192日実施すると仮定すると

$36905 \div (21 \times 192) \approx 9.2$  1日1園あたり10人程度の利用増となる。

同様に不足している8区域について、1日1園あたりの増数を、図表4の右側に表した。

図表4(右側)から

・1園1日あたりの増数は、津市全体では10人程度であるが、区域別にみると違いがあるため、次の点についての検討が必要と考える。

- 1 各区域において、1日1園あたりの増数が可能な数であるか。
- 2 実施園における預かり保育の実施時間について
- 3 実施園が0園の区域における対応について(河芸、一志、美杉)

③

その他(幼稚園在園児以外)の一時預り

		c:家庭類型別児童数	d:利用意向	幼稚園における在園児	e:ニーズ量(日)
タイプA	ひとり親	774 ×	13.085 -	=	10,133
タイプB	フルタイム×フルタイム	4,250 ×	10.788 -	=	45,852
タイプC	フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	2,120 ×	12.505 -	=	26,515
タイプC'	フルタイム×パートタイム(下限時間未済+下限時間~120時間の一部)	1,982 ×	15.847 -	1,795 =	29,616
タイプD	専業主婦(夫)	4,776 ×	11.182 -	3,078 =	50,321
タイプE	パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	9 ×	0.000 -	=	0
タイプE'	パート×パート(いずれかが下限時間未済+下限時間~120時間の一部)	0 ×	0.000 -	0 =	0
タイプF	無業×無業	9 ×	0.000 -	0 =	0

幼稚園在園児以外の一時的預りは、ニーズ調査では162,437のニーズがあると算出されている。

そのうち、保育の必要な家族類型(A、B、C、E)によるニーズが82,500含まれている。

これらは通常は保育園を利用していることが想定されるが、保育園の利用以外に年間10~15日の一時保育を希望している。

家族類型(C'、D、E'、F)の79,937については、在宅の0~5歳児が主であることが考えられるが、幼稚園在園児も含まれる。

こちらも児童一人当たり、年間平均10~15日の一時保育の希望がある。

ニーズ調査より②

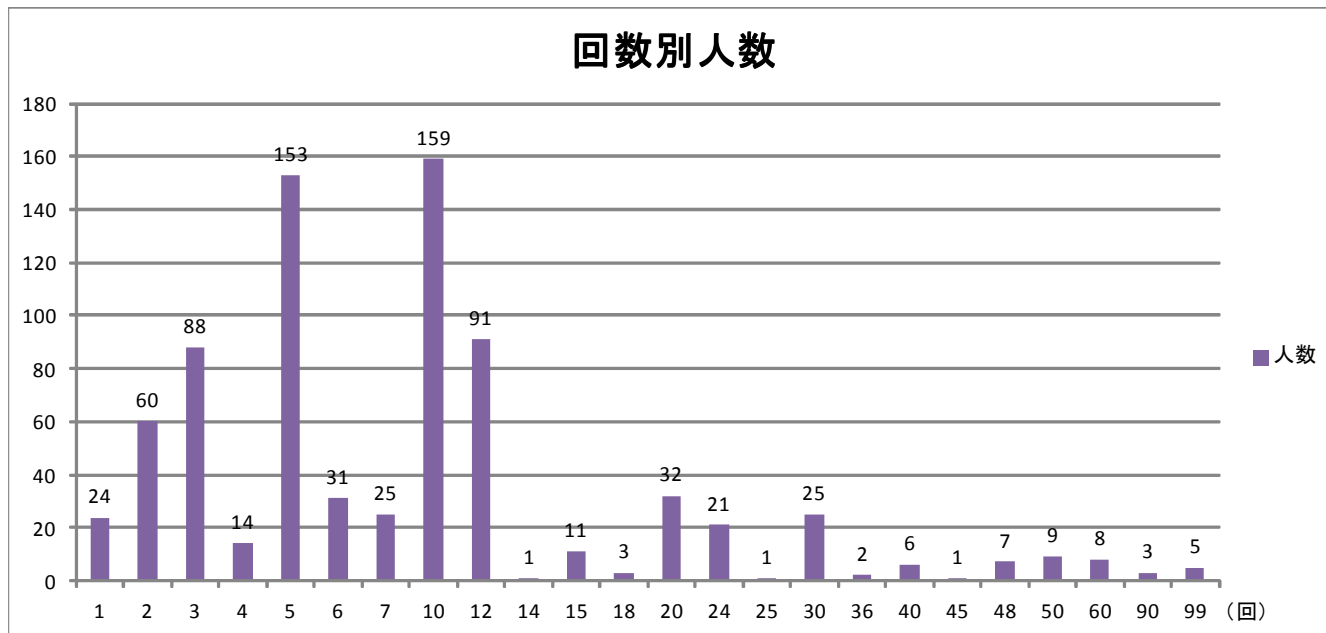
人数:実利用者数(年間)(人日/年)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考(H24実績)
③上記以外	49,512	48,986	48,365	47,723	47,218	8,041

※保育所、幼稚園利用者を除いて集計

そのため、ニーズ調査からの推計方法を変え、幼稚園・保育園に通っている児童を対象から外したところ、上の「ニーズ調査より②」の結果となった。

また、変更後の推計方法によると意向平均日数は、17.5日であった。



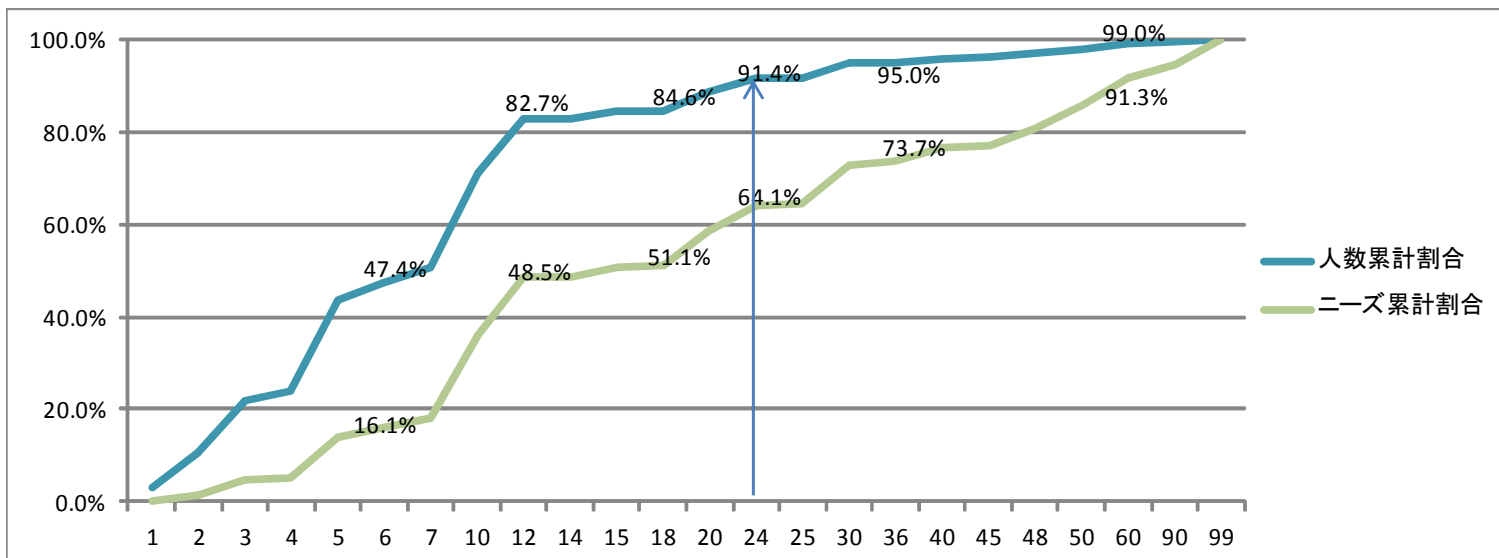
アンケートの回答から、利用を希望した人を利用回数ごとに分類しました。

1回と記入した人から、最大の99回と記入した人までいるが、24回(概ね月2回)までの希望回数の人だけで全体の91.4%を占めている。一方、希望利用回数を合計すると、全体の回数のうち64.1%を占めている。

つまり、25回以上を希望する残りの8.6%の人の希望利用回数を合計すると、全体の回数のうち35.9%を占めている。

左下のグラフからもわかるように、ニーズ量の64.1%の量で91.4%の家庭のニーズは満たすことができると言える。

利用希望者累計と利用希望回数累計の比較



ニーズ調査の性質上、調査から導かれる数字が供給されれば、すべて活用されるかといえば必ずしもそうとは言えない。

使うかと聞かれれば、「使う」。何回ですか?と聞かれれば「何回くらい」と答えるが、実際の利用は無かったり少なかったりすることが予想される。

補正するうえで、90%の家庭のニーズを満たすよう考えたが、一方で毎週のように利用を希望するというニーズも存在することをどうとらえ、支援につなげるかも別の課題として把握すべきである。

①、②一時預かり事業(幼稚園型) 補正後の数値

指標(単位)		人数:実利用者数(年間)(人日/年)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	H24実績
全市	①幼稚園1号	4,873	4,854	4,723	4,678	4,611	21,057
	②幼稚園2号	106,817	106,398	103,511	102,539	101,059	51,728
	計	111,690	111,252	108,234	107,217	105,670	72,785
津	①幼稚園1号	2,812	2,779	2,730	2,706	2,687	18,473
	②幼稚園2号	61,633	60,903	59,843	59,308	58,892	36,340
	計	64,445	63,682	62,573	62,014	61,579	54,813
久居	①幼稚園1号	874	906	881	868	851	1,071
	②幼稚園2号	19,147	19,864	19,303	19,016	18,646	4,667
	計	20,021	20,770	20,184	19,884	19,497	5,738
河芸	①幼稚園1号	347	343	329	339	332	0
	②幼稚園2号	7,597	7,525	7,217	7,428	7,284	0
	計	7,944	7,868	7,546	7,767	7,616	0
芸濃	①幼稚園1号	160	158	150	142	142	7
	②幼稚園2号	3,496	3,458	3,291	3,105	3,103	2,246
	計	3,656	3,616	3,441	3,247	3,245	2,253
美里	①幼稚園1号	43	46	40	42	36	66
	②幼稚園2号	944	999	871	921	798	727
	計	987	1,045	911	963	834	793
安濃	①幼稚園1号	149	145	142	142	138	274
	②幼稚園2号	3,260	3,089	3,114	3,105	3,014	4,132
	計	3,409	3,234	3,256	3,247	3,152	4,406
香良洲	①幼稚園1号	68	59	57	53	54	1,090
	②幼稚園2号	1,490	1,297	1,240	1,159	1,182	1,240
	計	1,558	1,356	1,297	1,212	1,236	2,330
一志	①幼稚園1号	262	262	259	255	253	13
	②幼稚園2号	5,739	5,737	5,667	5,596	5,540	346
	計	6,001	5,999	5,926	5,851	5,793	359
白山	①幼稚園1号	143	140	121	119	107	63
	②幼稚園2号	3,128	3,070	2,656	2,615	2,334	2,030
	計	3,271	3,210	2,777	2,734	2,441	2,093
美杉	①幼稚園1号	15	16	14	12	11	0
	②幼稚園2号	384	356	310	297	266	0
	計	399	372	324	309	277	0

③一時預かり事業(幼稚園在園児以外) 補正後の数値

指標(単位)		人数:実利用者数(年間)(人日/年)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	H24実績
全市	③その他	31,737	31,400	31,002	30,591	30,267	3,502
津	③その他	18,135	18,100	17,891	17,771	17,384	2,298
久居	③その他	5,922	5,840	5,739	5,650	5,753	35
河芸	③その他	2,271	2,247	2,317	2,276	2,275	980
芸濃	③その他	1,045	1,012	941	931	963	0
美里	③その他	279	235	249	202	200	0
安濃	③その他	978	986	963	936	898	71
香良洲	③その他	385	373	346	351	353	0
一志	③その他	1,713	1,719	1,687	1,687	1,660	0
白山	③その他	903	795	781	707	697	108
美杉	③その他	106	93	89	79	83	10

地域子ども・子育て支援事業		⑨ 病児保育事業
	津市事業	病児・病後児保育事業
区域	設定	全市域
	設定根拠	小児科医に限られる事業者の確保が優先されるため。

■「量の見込み」算出の考え方

算出根拠	対象年齢	0～5歳
	方法	国が作成した『市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き』による
	概要	<p><b>■国の算出の考え方及び算出方法</b>                      対象となる家族類型 共働き家庭等（タイプA・B・C・E）                      ・利用意向率（発生頻度）                      ①病気やけがで仕事ができなかった場合に「父親が休んだ」、「母親が休んだ」と回答した人のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人                      ②子どもが病気のため幼稚園・保育園が利用できなかった時の対処として、「病児・病後児の保育を利用した」、「ファミリー・サポート・センターを利用した」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した人                      → ①、②に当てはまる人の合計を、設問の回答者総数で除して算出する。                      ・利用意向日数                      ①、②それぞれの利用（希望）日数の総数を、①、②の実人数で除した数                      推計児童数(人) × 対象家族類型(割合) = 家族類型別児童数(人)                      ☆ 家族類型別児童数 × 利用意向※ = 量の見込み ※ 利用意向率 × 利用意向日数</p> <p><b>■本市における算出の考え方</b>                      国の手引きを基に算出した見込み数を「量の見込み」とする。</p>
	指標(単位)	利用希望人数(人・日/年)

■「量の見込み」

	実績 (平成25年度)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	備考
津市	688	4,566	4,525	4,433	4,382	4,319	(受入れ可能総数1,560人日)
暫定値	第3回会議で報告した数値等	4,566	4,525	4,433	4,382	4,319	
	「国の手引き」により算出した数値等	4,566	4,525	4,433	4,382	4,319	



地域子ども・子育て支援事業		⑩ 子育て援助活動支援事業
	津市事業	津市ファミリー・サポート・センター事業
区域	設定	全市域
	設定根拠	支援会員数が地域により異なることから、広域で提供体制を確保するため全市域とする。

■「量の見込み」算出の考え方

算出根拠	対象年齢	5歳児
	方法	国が作成した『市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き』による
	概要	<p>■国の算出の考え方及び算出方法</p> <p>対象となる家庭類型 全家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用意向率 放課後の時間を過ごさせたい場所でファミリー・サポート・センターを選択した割合を算出する。</li> <li>・利用意向日数 上記回答者の平均日数を算出する。</li> <li>・家庭類型別児童数 推計児童数(人) × 潜在家庭類型(割合)</li> </ul> <p>☆ 家庭類型別児童数(人) × 利用意向※ = 量の見込み ※ 利用意向率 × 利用意向日数</p> <p>■本市における算出の考え方</p> <p>国の手引きを基に算出した見込み数を暫定値としたが、利用実績と大きく乖離するため、考え方を整理して、見込み量を算出する。</p>
	指標(単位)	延べ利用者数(人/年)

■「量の見込み」

	実績 (平成25年度)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	備考
津市	(欄外)	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	
暫定値	第3回会議で報告した数値等	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	
	「国の手引き」により算出した数値等	0	0	0	0	0	

利用実績	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
総活動件数	4,885	4,790	3,553	4,235	2,342
会員数	1,097	1,203	1,273	1,288	1,312

